

製品不良、設備トラブルを未然に防ぐ

現場の
異常管理

生産現場における

異常対応力向上研修

「いつもと何か違う・・・」はトラブルの前ぶれ
異常に気付き、判断し、直ちに行動せよ！

日々の仕事のなかで「いつもと違う」「何かおかしい」と感じたら直に対処する、これが未然防止の鉄則です。不良の発生や設備故障など生産現場のトラブルというのは、突発的に見えても必ず何らかの前ぶれがあるものです。作業員、原材料、設備、手順といった生産の要素ごとに着目すれば、異常の予兆は発見しやすく迅速に対処できます。今回の研修は、いかに異常に気付いて行動を起こすかをテーマに、異常管理の考え方と目の付けどころを学んでいただきます。現場のムダ排除や安全確保にもつながるスキル、センスを身に付けて下さい。

● 開催日時 2011年 12月9日(金)
午前10時～午後4時30分

● 講師 テクノバ株式会社
代表取締役 弘中 泰雅 氏

● 会場 大阪産業創造館 6階会議室
大阪市中央区本町1-4-5
(地下鉄「堺筋本町」駅より徒歩約5分)

● 受講費 1名につき 会員企業の方 24,150 円
※いずれも消費税込み 会員以外の方 29,400 円
【振り込み先】・三井住友銀行 備後町支店 当座 No.201068
・三菱東京UFJ銀行 信濃橋支店 当座 No.321966
・りそな銀行 大阪営業部 当座 No.1027054

1950年生まれ。鹿児島大学大学院を修了後、食品会社にて研究課長、製造課長を歴任。その後、船井電機(株)に移り、家庭用製パン器の開発に携わり、技術責任者となる。2000年、テクノバ(株)を設立し、独立。生産性向上を目的としたコンサルタントとして活躍し、様々な企業に向いての実地指導や研修講師を数多く手掛けてきた。著書に「よくわかる異常管理の本」「ムダをなくして利益を生み出す食品工場の生産管理」がある。

申し込み方法 下欄の受講申込書をFAXで当協会宛にお送りください。
折返し、受講票・会場案内図、請求書および振込用紙をお送りいたします。
※開催前々日以降に取消しの場合、受講費を全額ご負担いただきますので、代理の方がご出席ください。

お申し込み、お問い合わせはこちらへ・・・

《主催》 社団法人 大阪府工業協会

〒541-0054 大阪市中央区南本町4丁目3-6
大阪府商工会館5階 TEL 06-6251-1138

受講申込書 | 生産現場における 異常対応力向上研修

会社名			受 講 者	所属部署・役職名	氏名
所在地	〒 _____				
電話番号	FAX			主要製品	従業員数
◎申込担当者 (受講票・請求書のお送り先) 所属 (部署・役職名) 氏名				◎受講費 ()名分 合計) _____ 円 月 日 銀行より振込予定	

お申し込みは ⇒ (社)大阪府工業協会 事業部 FAX 06-6245-9926

7211-0777HY

※申込書にご記入いただいた内容は、事務処理 (受講票・請求書の発行等)・担当講師への受講者名簿提示のほか、研修案内の送付に利用させていただく場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の場合、当協会までご連絡ください。

2011.12月9日(金)開催

不具合や事故は突然起こるものではなく、必ず兆候があります それにすばやく気づき、対処する方法を解説します

1 生産現場のちょっとした異常を見逃すな！

- (1) 異常と異常管理 → “いつもと何か違うぞ”とを感じる力を身につけよう
- (2) 製造現場では、異常が発生する前の予兆を見抜く力が重要である
- (3) 異常管理の適用範囲
- (4) 5M(人・材料・方法・機械・測定) + 治具・部品の異常管理
- (5) 異常管理はなぜ必要か

2 早期に異常に気づき、行動を起こせ！

- (1) 現在の職場の置かれている環境
- (2) 異常管理の手順とポイント
- (3) 異常報告書の活用
- (4) 気づき・考え・行動する → アクションを起こしやすい職場の雰囲気作りが成功のコツ

3 問題解決の具体的な進め方

- (1) 過去に起きた異常原因を分析する
- (2) 目標と責任者を決めた実施計画書の作成
- (3) グループを組んで、異常管理に当たれ
- (4) 異常管理への意識付けのコツ
- (5) 現場作業の参加意識を向上させるには
- (6) 異常管理活動を定着させる仕掛け
- (7) 標準化と歯止め

4 異常を感じ取り、対策を実行した事例に学ぶ

- 事例1 品質の異常への対策事例
- 事例2 原価の異常への対策事例
- 事例3 納期の異常への対策事例
- 事例4 5M+治具・部品の異常への対策事例

5 異常への気づき力を高めるノウハウ

- (1) 異常管理実践のポイント
- (2) 異常管理のツール
- (3) 管理図による見える化
- (4) ITによるプロセスの見える化
- (5) 異常管理の失敗に学ぶ
- (6) 問題発見・解決に役立つ観察力強化 → 先入観を持たず、いろいろな面から考える
- (7) 問題解析・原因究明の具体例